除雪機による
事故を防ごう!

使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう

人がいる時は使わない！

作業中は絶対にまわりに人を近づかせない。

エンジンを掛けたまま離れない！

作業の時以外は、必ずエンジンを停止する。

雪かき棒を使って！

雪詰まりを取り除く時は、エンジンを止めて必ず雪かき棒を使う。

後方注意！

後進する時は、足もとや後方の障害物に気をつける。

必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解してください。
搭載された安全機構の使い方を理解し、正しく利用してください。

除雪機安全協議会では「歩行型除雪機の安全規格」を策定し、普及に努めています。

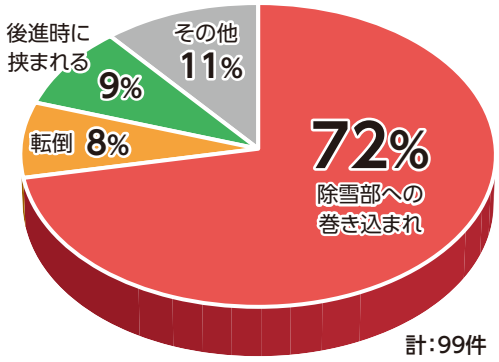
除雪機安全協議会
一般社団法人 日本農業機械工業会
http://www.jfmma/or.jp/
除雪機安全協議会 検索

除雪機を安全にお使い頂くために

除雪機利用中の3大事故と事故原因

出典：(独)製品評価技術基盤機構
「事故情報データベース」

除雪機の事故事例



除雪部の巻き込み
- エンジンを停止せずに除雪部に近づく。
- 周囲の確認が不足して他者を巻き込む。

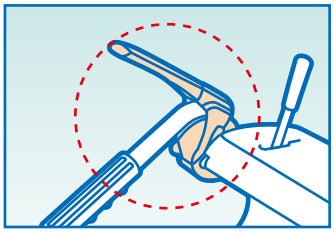
転倒事故
- 無理な姿勢で作業や機械の移動を行う。
- 不注意により足を引っ掛けて転倒する。

後進時に挟まれる
- 後進時の周辺確認が十分でない。
- 後進速度が速すぎて機械の操作を誤る。

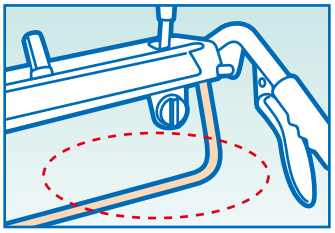
除雪中の事故が起こる原因を知り、正しく使用してください。

除雪機の主な安全機構

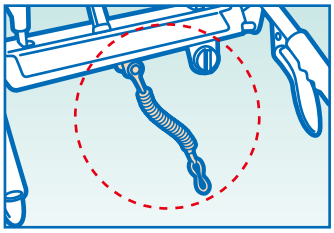
※詳しくは、お使いの除雪機の取扱説明書をご確認ください。



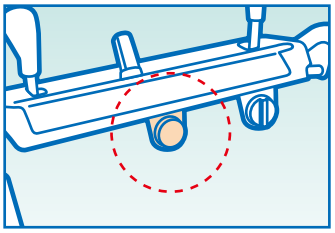
デッドマンクラッチ
現在販売される全ての除雪機に搭載される、クラッチを放すと機械が止まる機構です。



緊急停止バー
バーを押すとクラッチが切れ機械が停止します。



緊急停止クリップ
コードを引き抜くと機械が停止します。クリップを体に付けておけば、機械が離れた時に停止させることが出来ます。



緊急停止ボタン
ボタンを押すと機械が停止します。

安全機構の無効化は非常に危険です。絶対に改造しないでください。

注意喚起事項

- 作業前には取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解する。
- 雪詰まりを取り除くときは、エンジンを停めて、必ず雪かき棒を使う。
- 回転部に近づくときは、必ずエンジンを停める。
- 後進するときは、足下や後方の障害物に気をつける。
- 雪を飛ばす方向に注意する。作業中は絶対に人を近づけない。
- **安全機構が正しく作動しない状態では絶対使用しない。**

一般社団法人 日本農業機械工業会　除雪機安全協議会　検索　http://www.jfmma/or.jp/